

近年の発掘調査成果速報 ～第 30 回小さな展覧会展示遺跡から～

(1) 「大型群集墳」としての松井横穴群

公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター

主任 加藤 雅士 P 1～P 5

(2) 史跡五塚原古墳の調査研究課題

公益財団法人向日市埋蔵文化財センター

事務局長 梅本 康広氏 P 6～P 12

(3) 『第 30 回小さな展覧会』の見どころ

公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター

調査員 菅 博絵

日時：平成 28 年 8 月 20 日（土） 午後 1 時 30 分～4 時 00 分

場所：向日市寺戸公民館 2 階 大会議室

主催：京都府教育委員会

公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター

共催：向日市教育委員会

公益財団法人向日市埋蔵文化財センター

「大型群集墳」としての松井横穴群

公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター
主任 加藤 雅士

はじめに

松井横穴群^{まついおうけつぐん}は、八幡市との市境に近い京田辺市北端にある横穴群です。横穴とは、主に古墳時代後期に丘陵斜面に対してトンネル状に穴を掘り埋葬施設としたものです。後にお話しがあります五塚原古墳^{いつかはら}などと同じく死者を葬り^{ほうむ}、送るためのものですが、墳丘をもたないところが古墳と大きく異なっている点です。また、古墳のように広く満遍なく分布しているのではなく、地域的な偏りがある点も特徴です。近畿中央部では、山城南部のほかには大和盆地北部と南東部、河内の南東部に分布しています。

今回、新名神高速道路の建設に先立って平成23年度～平成26年度まで、4次にわたって発掘調査を行いました。発掘を伴う本格的な調査は、今回が初めてです。

1. 遺跡立地

調査地は、木津川左岸の丘陵地にあります。松井は『続日本紀』^{しよくにほんぎ}などの文献に度々名前がうかがえる古くからある集落で、歴史的には大住^{おおすみ}という地域に含まれていました。大和と西国をつなぐ古代の官道がこの付近を通過していたと考えられていることや、山城から河内へ抜ける谷筋であることから、交通の要衝でもありました。八幡市から京田辺市にいたるこの地域は、横穴が集中する地帯としても知られていて、狐谷横穴群^{きつねたに}、美濃山横穴群^{みののやま}、女谷^{おんなだに}・荒坂横穴群^{あらか}があります。

松井横穴群の存在は比較的古くから知られており、大正元年には学術誌に概要が紹介されています。平成15年に刊行された京都府遺跡地図 [第3版] 第3分冊では、11基の横穴が記載されていました。

2. 調査成果

発掘調査の結果、調査地内で70基の横穴が見つかりました。横穴は、丘陵斜面に同程度の高さで横に整然と並んでいます。詳しくみると、横穴には、隣の横穴との間隔が短いものや、同じ方向に開口しているものがあります。また、横穴の中には、隣の横穴と孔^{あな}で繋がった例もみられることから、隣り合った横穴同士に何らかの関係があった可能性がありま

す。

横穴は、手前から奥にかけて、「墓道」^{ぼどう}「羨道」^{せんどう}「玄室」^{げんしつ}の3つの部分に分かれています。「墓道」は入口にあたる部分で、溝状になっています。「羨道」から奥には天井があって、トンネル状になっています。「玄室」は遺体^{いたい}が置かれる場所で、玄室の天井は、合掌造りの屋根のように掘られています。

今回の調査では、人骨が残っていたのは20基程度です。人骨は、残りの状態が悪いものがほとんどでしたが、状況が分かるものをみると、一つの横穴に対して2～3体分の人骨が見つかる例が多いようです。また、頭骨^{とうこつ}の横に脚^{あし}の骨があるなど、埋葬後に遺体が動かされた状況が確認できました。

横穴が造られたのは6世紀後半～7世紀中頃を中心とする時期ですが、7世紀後半から8世紀前半に造られたものが含まれています。また、一部の横穴は、中世段階で再び墓として利用されていたようです。

3. 出土遺物

土器…須恵器^{すえき}を中心に、土師器^{はじき}などの土器類が出土品の多くを占めます。玄室に副葬品^{ふくそうひん}として置かれたものが多いですが、墓道からも出土しています。土器は、食べ物を入れたり供えたりする形態をしているものがほとんどです。

装身具…耳につけるイヤリングである耳環^{じかん}が30点程度出土しました。銅に金や銀のメッキや薄板を巻いて作ったもので、1つあたり20g程度の重さがあります。

鉄製品…20基程度の横穴から鉄製品が見つかりました。最も多いのは、鉄釘^{かすがい}や鏃です。これらが見つかった横穴では、木は残っていませんが、木棺が使われていたと考えられます。また、鉄製の鎌^{やじり}や刀も副葬品として見つかりました。

小型陶棺^{こがたとうかん}…SX0111から見つかりました。一般的な陶棺は、大人が足を伸ばして中に横たわれる大きさがありますが、これは全長80cm程度で非常に小さいものです。

4. 松井横穴群の位置づけ

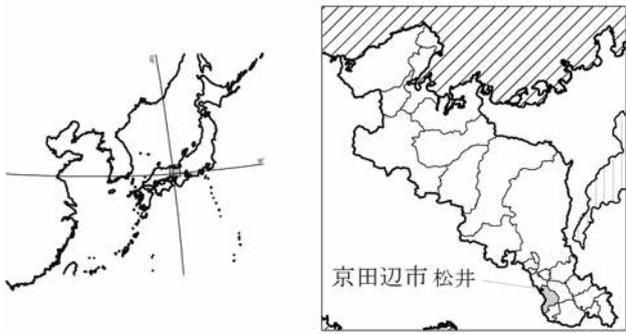
松井横穴群は、遺跡地図に11基の横穴が記載されていましたが、今回の発掘調査で新たに70基の横穴が見つかりました。今回の発掘では、多数の横穴を調査したことで、横穴がどのような密度で造られているのかデータを得ることができました。遺跡の範囲で試みの計算をすると、松井横穴群全体で300～400基の横穴が存在すると想定できます。

SX0111から出土した陶棺は、松井横穴群を考える上で大きな鍵となります。それは次の2つの点においてです。

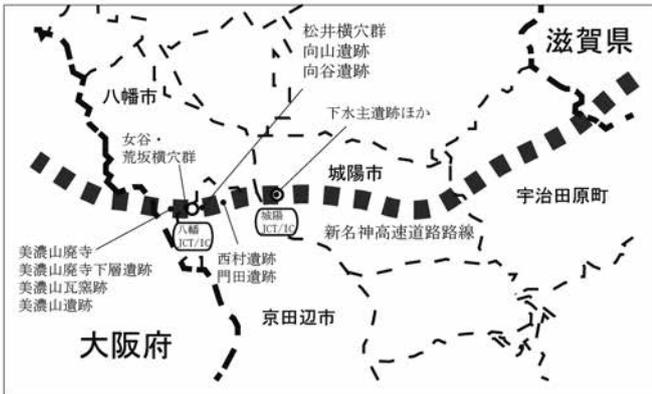
まず1つ目は、すぐ近くにある女谷・荒坂横穴群との関係です。女谷・荒坂横穴群は300基程度の横穴の存在が想定される横穴群で、一部が有智^{うち}という地域に含まれています。「内村」には「土師部^{はじべ}」がいたという『日本書紀^{にほんしょき}』の記事があります。土師氏^{そうそうぎれい}は葬送儀礼や土器作りを担った集団で、陶棺作りにも関わっていたと考えられています。つまり小型陶棺を介することによって、大住の松井横穴群と女谷・荒坂横穴群がある有智に関連があるのではないかという疑問が湧いてきます。実はすでに松井や女谷・荒坂を一連の横穴群と考えるべきとする研究者もいます。仮に一連の横穴群であるとすると先の数字から、600~700基程度の一大横穴群となる可能性があります。

小型陶棺からわかるもう一つの点は、他地域との関係です。松井横穴群や女谷・荒坂横穴群では他に陶棺は見つからないことから、地元で作ったものとは考えづらいところです。松井横穴群で出土した小型陶棺と似たものは、奈良市の宝来横穴群^{ほうらい}で出土しています。奈良市北部もやはり横穴が多く造られる地域で、横穴内に陶棺が多く用いられることが知られています。そして、この地域にも土師氏の伝承が残っています。松井横穴群の小型陶棺が作られたところの候補地の一つとなるほか、松井横穴群や女谷・荒坂横穴群においても葬送を担う集団としての土師氏が大きく関わっていたと考えられます。松井横穴群が横穴式石室などの古墳ではなく、横穴が造られた理由もここにあるかもしれません。

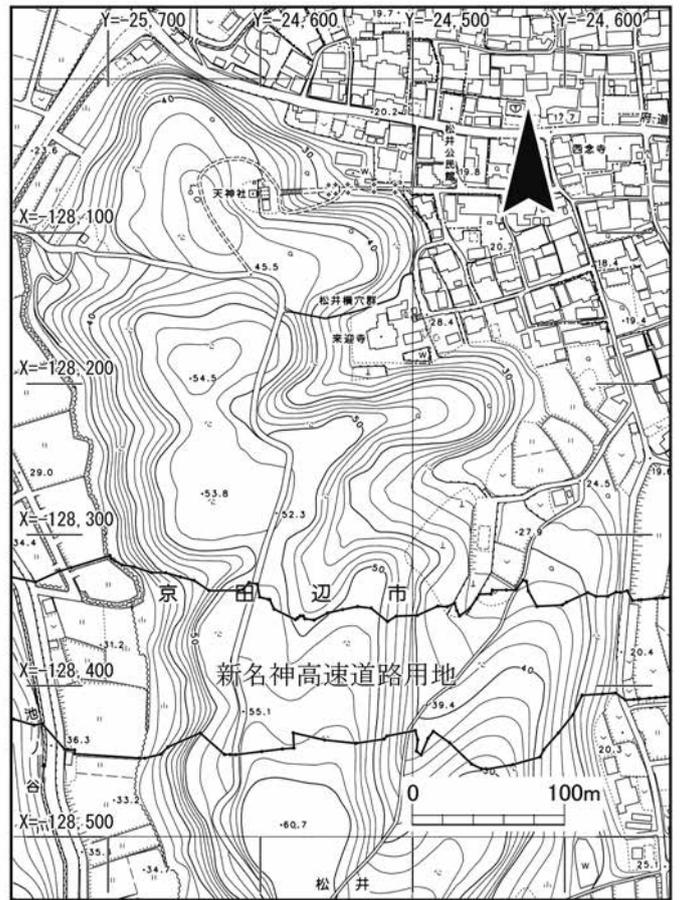
さて、600~700基にも及ぶ大規模な横穴群は、どのような人を対象とした墓だったのでしょうか。一般的に、古墳時代後期には古墳の数が大きく増えます。それまで古墳の築造が許されなかった有力農民層も古墳に埋葬されるようになったためと考えられています。これを群集墳^{ぐんしゅうふん}といいます。群集墳のなかには、数十基や100基を超えるような大規模群集墳と呼ばれる古墳群が存在しています。古墳の周囲に暮らしていた人々を対象とするには数が多すぎるため、より広い範囲を対象とした古墳群と考えられています。古墳と横穴の違いはありますが、松井横穴群もおそらく南山城の広い範囲を対象とした、複数集落の葬送の場であったと考えられ、「同族関係を超えた政治的レベルで墓域を特定箇所集中された一群の人たちがいた(和田1992)」と考えられます。京田辺市から八幡市にみられる大規模な横穴群は、南山城の古墳時代後期から古代を考えるうえで欠かすことのできない遺跡です。



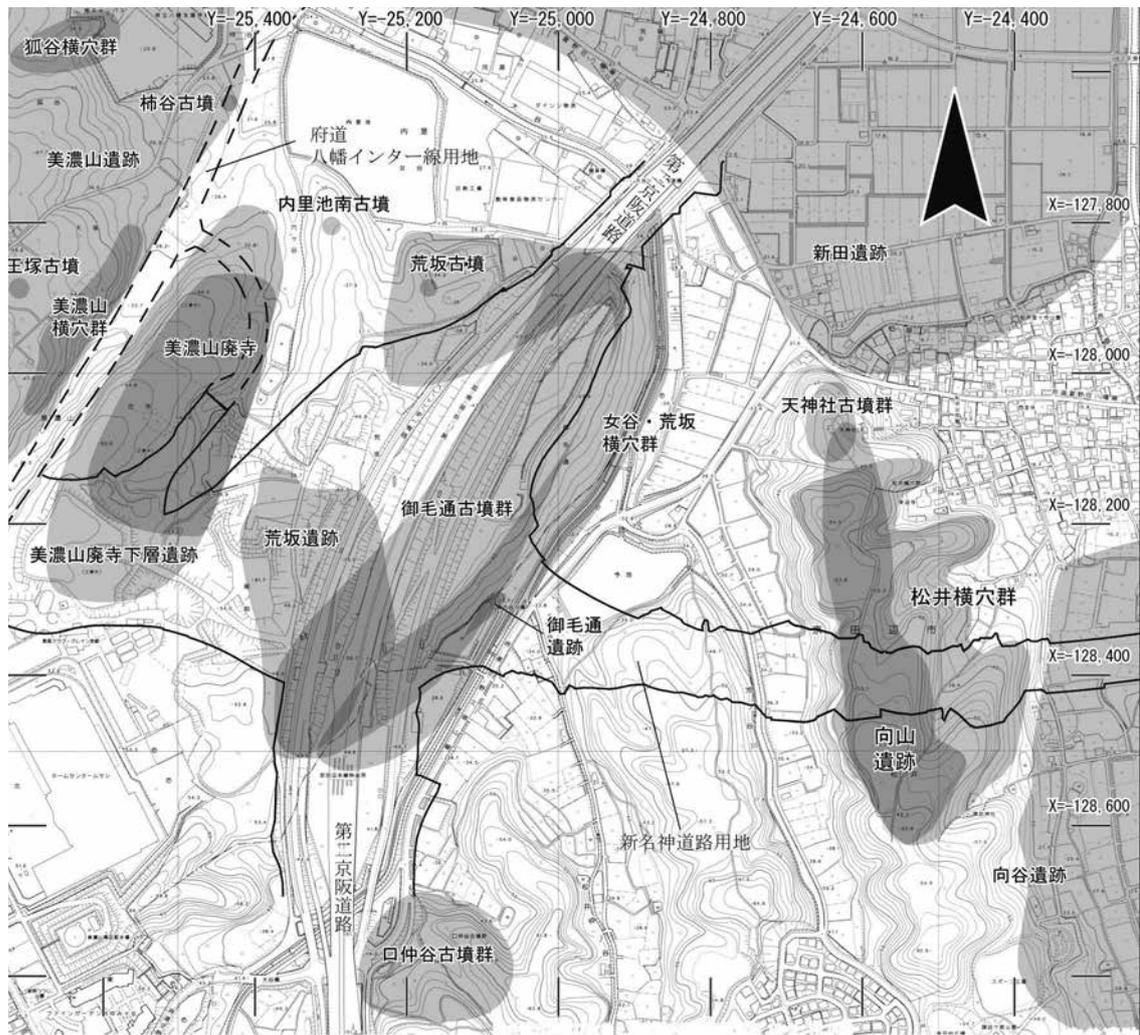
第1図 京田辺市の位置



第2図 八幡-城陽間の埋蔵文化財調査



第4図 調査地の地形



第3図 道路計画と遺跡の位置 (S= 1/10,000)



第5図 遺構配置図

いつかはら 史跡五塚原古墳の調査研究課題

公益財団法人向日市埋蔵文化財センター
事務局長 梅本康広

当センターでは五塚原古墳の保存と活用の方法を探る目的で、墳丘の遺存状況と範囲、内容の確認調査を実施しています。立命館大学と協同ですすめてきました発掘調査は、平成12(2000)年に始まり、7回の調査が行われました。

これまでの調査成果から、墳丘の構造については後円部こうえんが精美な円形を描く3段、前方部は細くて長い「バチ形」を呈する2段に築かれていることが判明しました。

墳丘の規模は全長91.2m、後円部径54m、同高8.7m、前方部長40.5m、同前面幅33m、同高2.1~4.0m、くびれ部幅15mの復原値が得られています。

墳丘の特徴は、後円部と前方部が分離した段築構造に集約されます。後円部の平坦面はほぼ水平にめぐりますが、隆起斜道りゅうきしゃどうで終息し前方部とはつながりません。いっぽうの前方部は勾配をもたせて先端側を高くしています。

このような側面観の不整合が生じる理由は、前方部頂を先端に向けて大きくせり上げた形にするためであり、途中の平坦面もこれに合わせる必要があったと考えられます。

顕著な「斜路状平坦面」しゃろじょうへいたんめんは墳丘自体をほぼ盛土で築き上げる方法とともに、箸墓古墳築造後の前期古墳にはほとんど継承されない要素と考えられます。はしか

こうした築造法は古墳出現段階にのみ現れた初源的な特徴であり、全国で総数約5200基の前方後円(方)墳のなかで、箸墓古墳と五塚原古墳だけに共通しています。

また、後円部が精美な円形に三段まで築かれた例についても箸墓古墳と同時期の古墳では他に確認されていません。したがって、後円部三段、前方部二段の墳丘構造としては最も古い古墳のひとつとみられます。

なお、前方部の平面形態は、奈良県桜井市に所在する纏向古墳群まきむく中の東田大塚古墳ひがだおつかで復原されている輪郭線と一致しており、五塚原古墳出現の背景に纏向古墳群造営者集団との関係を見いだすことも可能です。

調査研究課題

- ①墳丘 墳丘の築造過程を明らかにするためには、旧地形の造成範囲とその方法、盛土の構築単位、葺石ふきいしの施行と各段盛土の積み上げ方法、後円部と前方部の

先後関係、隆起斜道と掘り込み墓道の存否、斜路状平坦面の基点、後円部中心点の移動の有無、前方部南西隅角の形状と勾配、周辺埋葬の存否等の把握が必要です。

②埋葬施設 たてあなしせつかく もっかく 豎穴式石槨や木槨などの構造が推測されます。これまでに墳丘から板石が全く確認されていないため、河原石使用の可能性も考えられます。ほこう 墓壙の形状、排水溝の取り付け方、副次的な埋葬施設や墳頂中央の壇状施設の有無も説明が必要です。

③遺物 箸墓古墳併行期の副葬品として、中国鏡、たち 大刀、さく 剣、おの ヤリ、かま 鏃、とうす 刀子、やりがんな 鉾、ござねかわとじかぶと ノミ、小札革綴冑、絹織物、麻布、ガラス小玉のいずれかを副葬します。

みややまがたとくしゆきだい 宮山型特殊器台をはじめとするきょうけんとき 供献土器類がそなえられた可能性も想定できます。

④築造系譜 前期古墳の調査研究は埋葬施設や副葬品の研究に主眼が置かれてきましたが、前期初頭の大型古墳として墳丘が完存する五塚原古墳の調査研究成果を通じて、大型前方後円墳の成立過程の解明に期待が寄せられます。

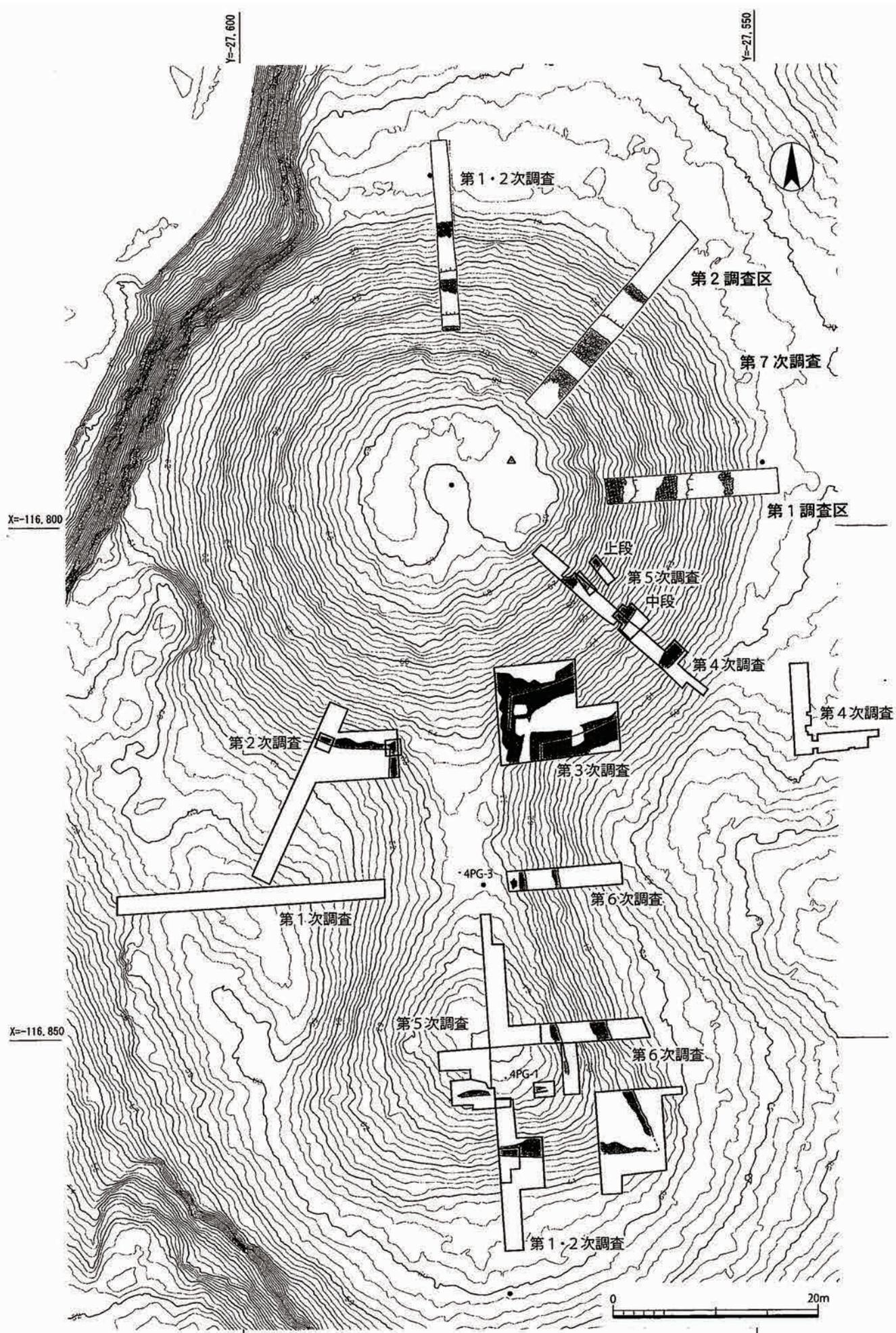
メモ



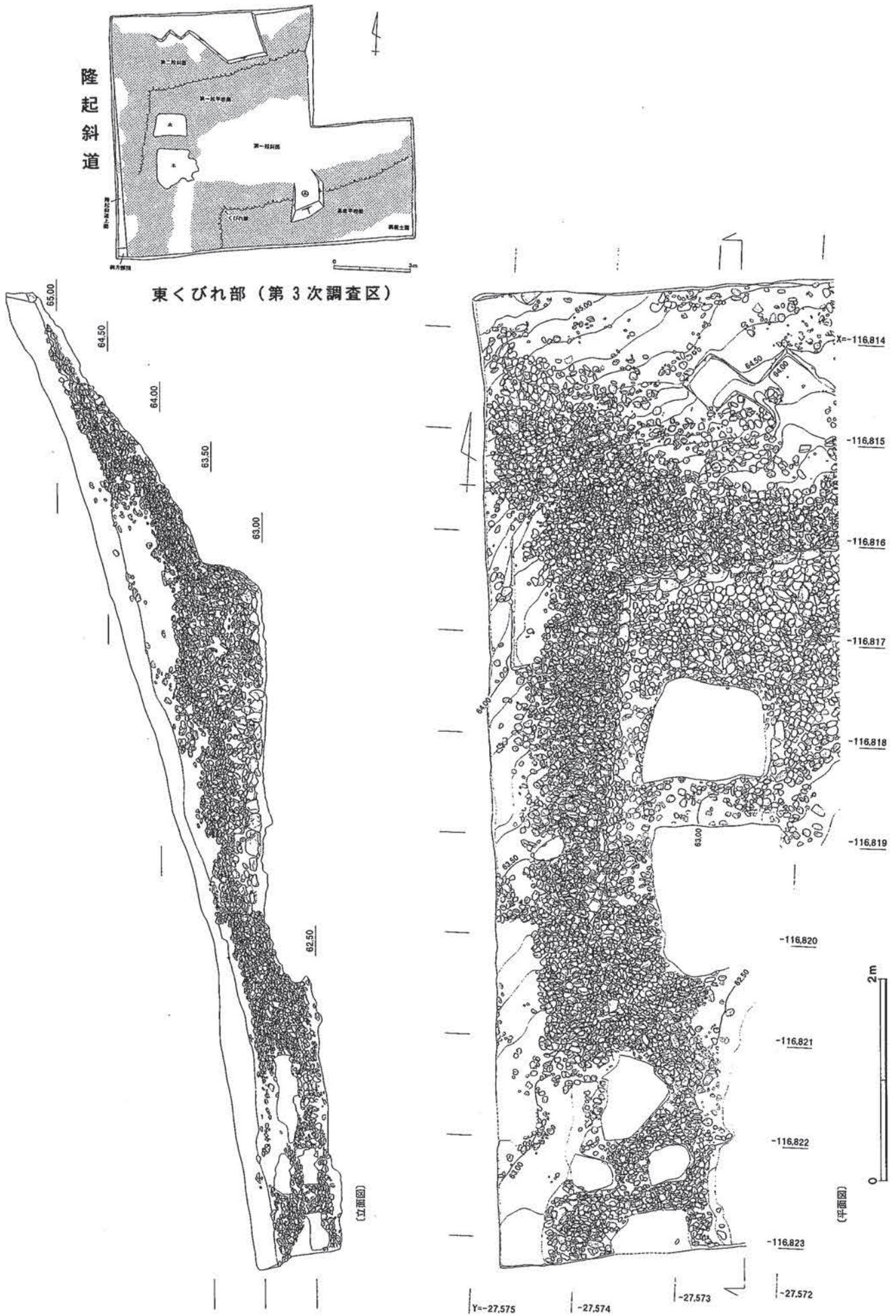
表1 日本で最初に作られた古墳
—規模ランキング—

200m級	箸墓古墳 (大和・280)
	西殿塚古墳 (大和・219)
	椿井大塚山古墳 (南山城 170)
	東殿塚古墳 (大和・139)
	浦間茶臼山古墳 (備前・138)
	中山大塚古墳 (大和・120)
	弁天山 A 1号墳 (摂津・120)
	黒塚古墳 (大和・128)
	ヒエ塚古墳 (大和・125)
100m級	石塚山古墳 (豊前・110)
	森 1号墳 (北河内・106)
	丁瓢塚古墳 (播磨・104)
	元稻荷古墳 (西山城・94)
	網浜茶臼山古墳 (備前・92)
	五塚原古墳 (西山城・91)
	西求塚古墳 (摂津・90)
	ホケノ山古墳 (大和・90)
	那珂八幡古墳 (筑前・75)
	雪野山古墳 (近江・70)
	玉手山 9号墳 (南河内・65)
	弘法山古墳 (信濃・63)
50m級	備前車塚古墳 (備前・48)
	鶴尾神社 4号墳 (讃岐・40)
	象鼻山 1号墳 (美濃・38)
	都月坂 1号墳 (備前・33)

第1図 向日丘陵とその周辺の古墳・集落遺跡



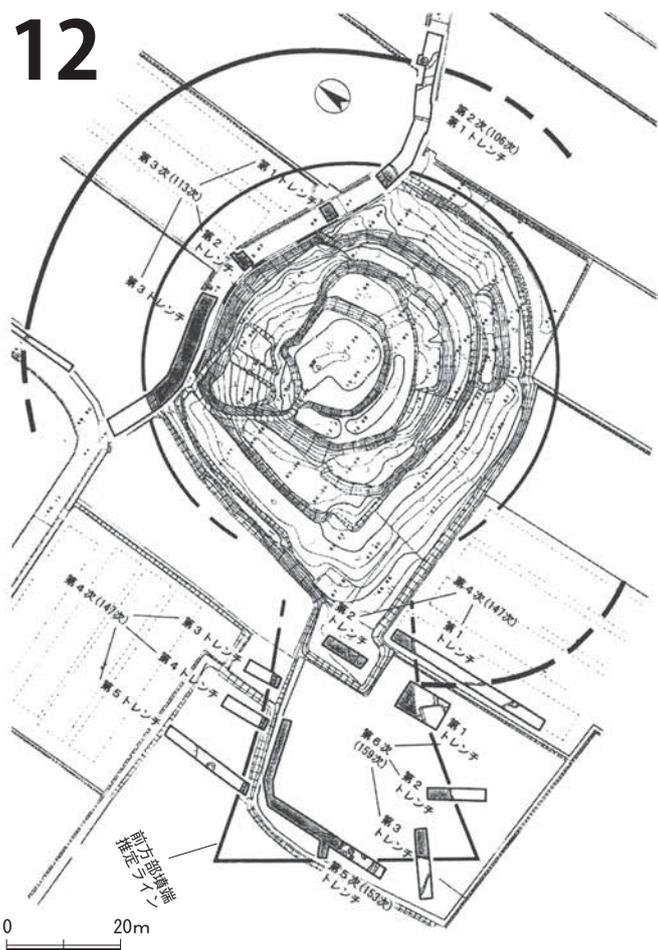
第2図 調査区設定図(1/500)



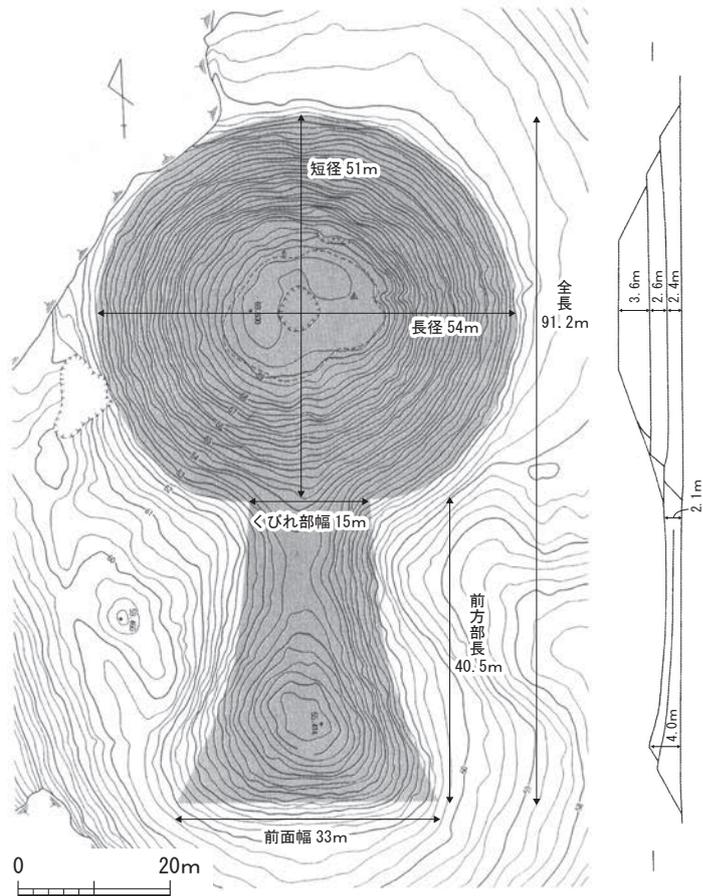
第3図 「隆起斜道」平・断面図(1/50)



第4图 「斜路状平坦面」平・断面图(1/30)

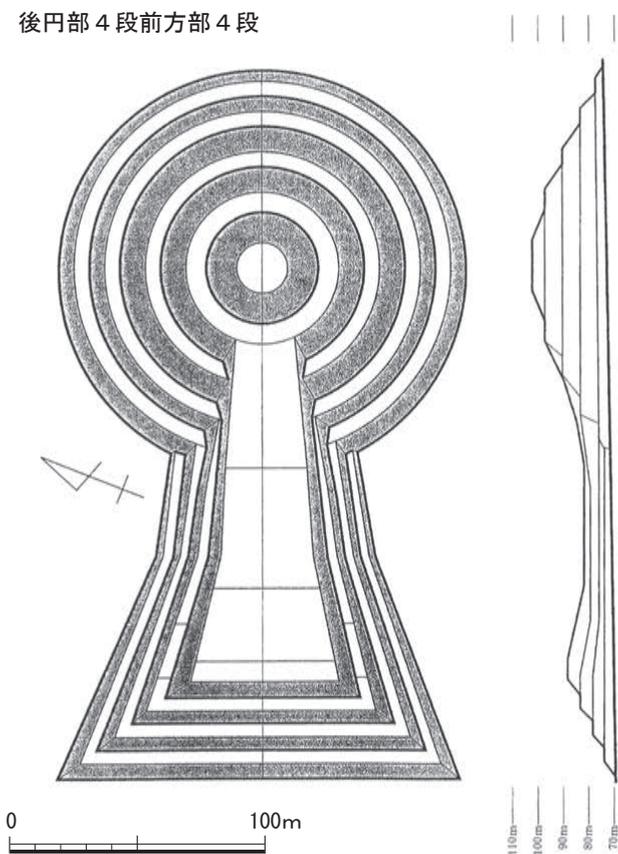


1 纏向東田大塚古墳の墳丘復元図 (1/1333)
桜井市教育委員会 2011 を改変

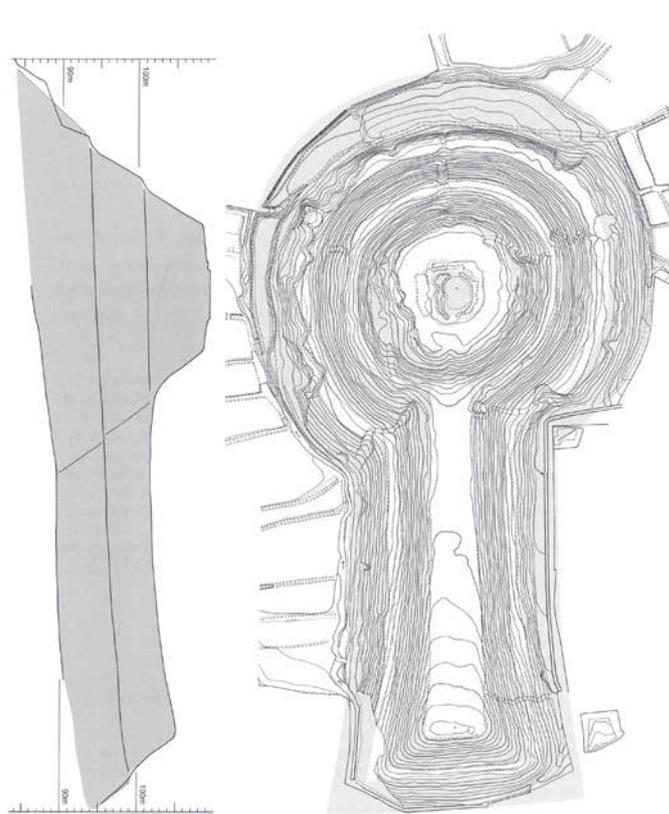


2 五塚原古墳の墳丘イメージ図 (1/1000)
向日市文化資料館 2004 をもとに作成

後円部 4 段 前方部 4 段



3 箸墓古墳の墳丘復元案 (1/3000)
桜井市立埋蔵文化財センター 2014 より



4 桜井茶臼山古墳の墳丘復元案 (1/2000)
大阪市立大学日本史研究室 2005 より



公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センターの現地説明会や埋蔵文化財セミナー、小さな展覧会などの催し物は、下記のホームページでもご案内しています。

<http://www.kyotofu-maibun.or.jp>

公益財団法人 京都府埋蔵文化財調査研究センター

〒617-0002 向日市寺戸町南垣内40番の3

Tel (075) 933-3877 (代表) Fax (075) 922-1189